

親子50名が参加 ガリレオが見た土星はどんな土星？

8月2日 親子天文教室 夏休みの自由研究「ガリレオが見た土星」がありました。講師は、体験館天文アドバイザー浅田英夫先生です。土星は、この夏休みに見るのにぴったりの天体ということで、土星の詳しいお話はもちろん、今回はイタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイについても知ることができました。ガリレオは、木星の衛星の発見など様々な発見で有名ですが、初めて望遠鏡で土星を見たのもガリレオです。

プラネタリウムでは、土星の環に近づいたり、環をくぐったり、環の薄さを実感できるような迫力ある映像に子どもたちは歓声を上げていました。先生のお話はおもしろく、あっという間の2時間でした。

今回の教室では天候が悪く、外で観望ができなかったので残念でした。



↑会場内の様子

7月19日に登場！新規展示物に注目！！

わごむアートであそぼう♪

この夏から登場した「わごむアート」はもう体験してくれたかな？サイエンスホールの万華鏡の近くにあります。

黒い板には、クギがタテ5本×ヨコ5本の25本ついています。25本のクギを使って作ってもいいですし、またそうした板が9枚ならんでいますので、あいていたらいっぱいに使って作るのもかまいません。わごむをクギにうまくひっかけて作りますが、これがまた意外にむずかしい・・・かなり頭を使います。



文字にしようかな？
絵にしようかな？
わごむもいろんな色があるからカラフルに♪
お父さんお母さんも一緒に作っている姿がよく見られます。

チャレンジ待っています！いい作品ができれば教えてね！

星空を見上げて

赤く輝く月『皆既月食』を見よう



10月8日の夕方から、日本中で皆既月食が楽しめます。月食とは、太陽—地球—月が一直線に並ぶ満月のとき、月が地球の影に入りこんで欠けて見えるものです。

皆既月食のいいところは、肉眼でも十分に楽しめる点です。もし望遠鏡や双眼鏡をお持ちでしたら見てみましょう。薄い影「半影」に入った時の変化もはっきりとわかります。また、淡い色の移りゆくなんとも言えない変化を見ることもできます。

皆既月食は、月が完全に地球の影に入り込んでしましますが、月が真っ黒に見えるわけではありません。

太陽の光が地球の大気で屈折し、影に入り込んで月を照らすため赤銅色に輝きます。この時の明るさや赤さは地球の大気の状態によって、毎回違います。今回はどのように見えるのか楽しみます。

9月の星空散歩や、10/4(土)の親子天文教室でも「皆既月食」について取り上げます。ぜひご参加ください。

爆笑！！笑劇サイエンスショー

8月5日～9日「笑劇サイエンスショー」がありました。連日、たくさんのお客様に楽しんでいただきました。

出演者は、市内を中心に活躍されているお笑い劇団の「はるか」、「あかね」と当館実験名人「しんちゃん」です。テーマは、「オチ(落ち=落下)ないサイエンスショー」ということで、バケツに水を入れて逆さにしてもこぼれない実験などを行いました。

昨年に引き続き、お笑い劇団と科学のコラボレーションで、笑いあり、ドキドキありの楽しいショーになりました。



↑(左から)
あかね、しんちゃん、はるか

詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaiikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団



とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007/FAX (0565)37-3012